

2/22 Hirado City Photo News  
地域資源と食を交流に生かそう!



根獅子小学校体育館で、「第6回うましの里・根獅子食まつり」(根獅子集落機能再編協議会主催)が開催されました。会場には、約100人が出品したごはん類やおかず、漬物、お菓子など約170品の料理が並び、市内外から集まった約450人の皆さんは、おいしい料理に舌鼓を打ち、根獅子地区の食の魅力と地域のおもてなしを満喫しました。また、このほかに、九州大学大学院教授藤原恵洋さんによる世界遺産登録を生かしたまちづくり講演や、北松農業高校の生徒による「羊プロジェクト」の事例発表なども行われました。

2/22 Hirado City Photo News  
創年が活躍する「創年活動」の推進と地域活動のあり方を考える



平戸文化センターで、「創年コミュニティ研究大会 西日本大会 in 平戸」が開催されました。度島地区まちづくり運営協議会 集落支援員 森健司さんが「平戸市のコミュニティ活動」と題し、ふれ愛センター度島を中心としたまちづくりの現状と目指すべき将来像などについて発表したほか、聖徳大学名誉教授 福留強さんによる基調提言や分科会が行われました。また、「自治会からはじまるまちづくり」をテーマに、シンポジウムが行われ、自治会が活躍する新しいまちづくりについて熱く語り合いました。

3/1 Hirado City Photo News  
聖地 安満岳でオラショ披露



長崎の教会群とキリスト教関連遺産の構成資産「平戸の聖地と集落」を巡る、「生月島かくれキリシタン信者と行く平戸巡礼」が開催され、市内外から19人が参加しました。これは世界遺産への推薦決定を受け、市と生月島キリシタン伝承会が初めて開催。構成資産の春日集落や切支丹資料館などを専門家の解説を聞きながら巡った後、かくれキリシタン信者3人と安満岳の山頂を目指しました。山頂の石祠の前では、感謝のオラショが唱えられ、参加者は、「このような厳かなものが長く守られてきたことに感動し、驚いた」と感想を話しました。

2/28 Hirado City Photo News  
連携して南部地区を盛り上げよう!



多目的研修センター一帯で、「第3回奥平戸菜の花まつり」が開催されました。このまつりは、平戸南部地域活性化協議会、津吉あかるくらぶ、味菜会、平戸革新プロジェクト 宝JIMA★N、パッポン会、南部暮らしの応援隊が連携し、地域を盛り上げるために開催したものです。昨年小嶋保育園の園児らによって種まきが行われた菜の花畑では、宝探しが行われ、子どもたちは大喜びで、菜の花畑を駆け回っていました。このほか農畜水産物のバーベキューやもちまきなども行われ、会場は大いに盛り上がりました。

2/27 Hirado City Photo News  
今年の活躍を誓いました



Vファーレン長崎の内田正二郎代表取締役社長と鈴木英司事業部長、早稲田大学から新入団の上形洋介選手が長崎自治体連絡支援会議の構成市町である平戸市へ2014シーズンの活動報告と2015シーズンのホームタウン活動への協力要請などのため本市を訪問しました。内田社長は、「2014シーズンは順位を落とし悔しい思いをしました。2015シーズンはぜひJ1に昇格できるように一生懸命頑張ります」と今年に賭ける思いを話されました。最後には上形選手から平戸市のネームが入ったのぼりがプレゼントされました。

2/21-22 Hirado City Photo News  
3周年で大にぎわい!



平戸瀬戸市場において「平戸瀬戸市場3周年記念誕生祭」が開催されました。直売所では、新鮮な農水産物を求め市内外からの大勢のお客さんにぎわっていました。屋外の会場でも海鮮バーベキューや、農産物、あごだしうどん、干物などが販売され、多くの人が買い求めていました。さらにいちごの早食い競争も行われ、多くの人が参加し優勝目指して頑張っていました。また、田平町の女性商店主らでつくるコメディグループ「田平商女隊」の5人がちんどんやに扮し会場を盛り上げていました。

2/19 Hirado City Photo News  
平戸市から世界遺産を!



たびら活性化施設で、「世界遺産市民セミナー」が開催されました。このセミナーは、世界文化遺産登録を目指す「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の国内推薦正式決定を受け開催。市内には、「田平天主堂」、「平戸の聖地と集落」(春日集落と安満岳、中江ノ島)の3つの構成資産があり、この日は、県の世界遺産登録推進課長が、世界遺産登録に向けたこれまでの取り組みなどについて説明したほか、市の担当者による市内の構成資産の解説、黒田市長が1月に参加した「長崎県パチカン訪問団」について報告しました。



平成27年度 補助事業の申請団体を募集

# 市民の「元氣・やる氣・その氣」を応援します

◎募集期間 平成27年4月1日(水)～4月30日(木)

市では、協働によるまちづくりの実現を目指し、各種施策に取り組んでいます。平成27年度も市民の皆さんが自主的に企画、運営する公益的な活動を積極的に応援していきます。補助事業の内容は、次のとおりです。

■お問い合わせ 地域協働課協働交通政策班 ☎内線2314

**1 やらんば市民活動サポート事業補助金**  
予算額 440万円

- はじめの一歩部門 市内で活動を始めようとする団体、または活動を行なっている団体で経営基盤の弱い団体に運営費を補助します(運営費補助)。
- 活動ステップアップ部門 活動を継続して展開し、事業活動の活性化を目指す団体に対して補助します(運営費および事業費補助)。
- アドバイザー等招へい部門 活動の継続・活性化、団体の自立強化を目的にアドバイザーを招へいし、学習会などを開催する団体に対して補助します(目的補助)。
- 新規事業チャレンジ部門 身近な地域課題や多様化する課題など、新しい課題に対する取り組みを展開する団体に対して補助します(運営費および事業費補助)。

平成26年度事業例

- ▶農林水産加工アドバイザー招へい事業(南新会)
- ▶地域コミュニティ推進事業(味菜会)

**2 やらんば市民活動ネットワーク促進事業補助金**  
予算額 200万円

- 募集事業 複数の団体がネットワークを確立し、連携して行う事業
- 応募資格 補助対象団体は、次の全てを満たす市民活動団体の集合体
- ①代表者が異なる3団体以上の市民活動団体で構成されていること
- ②団体の半数以上が団体設立後3年以上の市民活動団体で構成されていること
- ③団体の半数以上が平戸市内に所在し、平戸市に団体登録された団体で、市内で実施する事業であること
- 補助額 1団体あたり10万円とし、1事業あたり50万円を上限として補助率9/10以内

平成26年度事業例

- ▶奥平戸菜の花まつり開催事業(6団体ネットワーク)
- ▶HIRADO DISCO開催事業(5団体ネットワーク)

**3 市民力アップ支援事業補助金**  
予算額 1,000万円

- 募集事業 市民活動団体などの拠点施設整備や街なかの休憩施設などを整備する事業
- 事業例 空き家などを活用した活動拠点(コミュニティの場)の整備や地域文化の情報発信を目的とした看板の設置など
- 応募資格 市内に住所を有する5人以上で組織された団体で、次の要件に該当するもの(※営利団体であっても事業内容が公益的な場合は可)
- ①年間の活動計画が明確であること
- ②申請団体が既存団体の下部組織である場合は、当該事業において上部組織から助成を受けていないこと
- ③対象事業が国、県およびその他の団体などから助成を受けていないこと
- 補助額 1団体あたり500万円以内(補助率9/10以内)

平成26年度事業例

- ▶古民家「ひらまつ」施設整備工事(志々伎ヒューマンネットワーク)
- ▶館浦須古踊り保存会拠点施設整備事業(館浦須古踊り保存会)

**4 コミュニティビジネス支援事業補助金**  
予算額 200万円

- 募集事業 市民活動団体などの活動の活性化およびコミュニティビジネスによる雇用の促進を図る事業
- 応募資格 市内に活動拠点を有する市民活動団体など
- 補助対象
- ①専門家などに依頼するマーケティング調査委託料
- ②先進地研修旅費
- ③事業に必要な研修会開催経費
- 補助額 対象経費の10/10以内で、50万円を限度とし、補助金の交付は2回までとする。
- 事業所設置支援事業
- 補助対象
- ①事業所賃借料(保証金、敷金および仲介手数料を除く)
- ②事業所設置に必要な備品のリース代または購入費、消耗品購入費
- ③ホームページ作成にかかる経費
- ④その他広告宣伝にかかる経費
- 補助額 対象経費の2/3以内で、50万円を限度とし、補助金の交付は2回までとする。ただし、②・③は1回までとする。

### 3/7 Hirado City Photo News ペコロスさんの話に感動!



平戸市離島開発総合センターで「ペコロスの母に会いに行く」の著者であるペコロスさんこと岡野雄一さんによる講演会「ペコロスの母に思いを馳せて」が開催されました。この日は、岡野さんが長崎に戻ってきてから母親と同居し、認知症になってから亡くなるまでのエピソードと、映画化になるまでの経緯について講演。また、愛用のギターによるお母さんへの思いを長崎弁で作詞・作曲した自作のライブが行われました。参加した約70人の皆さんは、ペコロスさんの講話と歌に大変感動してる様子でした。

### 2/28 Hirado City Photo News 市の花木「ツバキ」の魅力を再認識



田平町民センターと平戸市離島開発総合センターで、「平戸つばきフェア」が開催されました。田平会場では「第41回田平つばき物産展」、平戸会場では「第40回平戸つばきまつり」を開催。会場には、たくさんのツバキの鉢物や生け花、切り花、ミニ盆栽などが展示されており、来場者に感想を尋ねると「どの作品も作った人の個性と愛情が感じられ素晴らしい」と感想を話してくれました。また、ツバキを題材にした絵画の展示や苗木の販売、呈茶なども行われ、会場は多くの来場者でにぎわっていました。

### 3/15 Hirado City Photo News 大人と子どもの対話が大切



平戸文化センターで、「平戸市民生涯学習講演会」(子どもとメディアについて考える講演会実行委員会主管)が開催され、約120人が参加しました。講師にNPO法人子どもとメディア専務理事 古野陽一さんを招き、「ネットに奪われる子どもたち～スマホ社会とメディア依存への対応～」と題して講演。古野さんは、スマホ社会の子どもたちの現状や危険性の説明、それらの問題を解決するための具体的な対応策などを提案し、「大人と子どもが対話することで子どもの健康と安全が守られます。」と訴えました。

### 3/15 Hirado City Photo News 青い目の人形と雛人形が結んだ笑顔あふれるひな祭り



3月15日から4月3日の正午まで、平戸オランダ商館で、「平戸オランダ商館ひな祭り」が開催されています。平戸幼稚園では、88年前、日本とアメリカの友好親善を願って贈られた青い目の人形「エレン・C」と一緒にひな祭りを開催しています。今年は、市民や観光客の皆さんにも一緒にひな祭りを楽しんでもらいたいと、平戸オランダ商館と共催で、同施設で初めて開催しました。15日のオープニングイベントでは、かわいらしい着物と袴姿の平戸幼稚園児26人が、ひなまつりなどの合唱や踊りを披露し、会場は終始笑顔に包まれました。